




くにたち 公民館だより









発行
 国立市公民館
 〒186-0004
 国立市中1-15-1
 ☎ 042-572-5141
 FAX042-573-0480
 休館日：毎週月曜日

しょうがいしゃ 青年教室

一緒に活動しませんか？
(詳細は2ページ参照)

「しょうがいしゃ青年教室」では、公民館1階ロビー横の「青年室」を拠点に、しょうがいがある人とない人が一緒にさまざまな活動をしています。「青年室」は若者がいつでも使える「居場所」のような空間です。「しょうがいしゃ青年教室」のプログラムは関わっている人たちが中心に企画し、しょうがいの有無に関わらず一緒に楽しみ交流することを大切に活動しています。

少しずつ形を変えながら30年以上続けているこの活動について、スタッフとして関わっているお二人に、感想や魅力を書いていただきました。



思いのままに描く

「しょうがいしゃ青年教室」では、公民館1階ロビー横の「青年室」を拠点に、しょうがいがある人とない人が一緒にさまざまな活動をしています。「青年室」は若者がいつでも使える「居場所」のような空間です。「しょうがいしゃ青年教室」のプログラムは関わっている人たちが中心に企画し、しょうがいの有無に関わらず一緒に楽しみ交流することを大切に活動しています。

少しずつ形を変えながら30年以上続けているこの活動について、スタッフとして関わっているお二人に、感想や魅力を書いていただきました。

**楽しむことを
楽しむ！**

枝松 和子(クラフト)

きつと他の講座もこのようなことは少なからずあるのではないかと思います。メンバーもスタッフも講座の時間を楽しもうと集まってくるので、何気ないこともなんだか楽しくなる。楽しさは伝染、みんなが楽しくなる。そして病みつきになる。青年室で行われるイベントもみんなで楽しもうという雰囲気があり、ふだんでは味わえない濃い時間となります。しょうがいしゃ青年教室？ 講座？ 文字だけだとんだかお固い感じですが、実は奥が深く、その場に来てみないと味わえない、そんな魅力があるところです。

※メンバー…しょうがいがある人
 スタッフ…メンバーをサポートするしょうがいがない人



みんなで楽しく版画作り

喫茶「わいがや」での 出会い

大川 あじさい(喫茶実習)

その人は少しイライラしているようでした。恋人らしき女性と一緒にカウンターのどかんとすわると、乱暴にメニューを取り、「何があんだよ。ああ、コーヒーでいいや」と言いました。ちょうど新しく豆からコーヒーを入れるタイミングだったので時間がかかってしまい、彼は「遅くね？」などと女性につぶやき、「聞こえるよ」とたしなめられていました。ようやくできたコーヒーを運ぶのはしょうがいのあるSさん。震える手でもていねいにやつと器を置きました。イライラの彼が一口飲んだタイミングで、「あ、うまい」とつぶやいたのが聞こえました。その後そのカップルの会話が途絶えたなと思ったら、彼は手元のわいがやのパンフレットを熱心に読んでいました。しばらくして二人が



食器洗いも一つ一つ心を込めて

スタッフと協力しながら…



立ち上がりお会計をすませると、彼は私とSさんに深々と頭を下げたのです。そして「おいしかったです」とひとこと。

これは私がわいがやで働いていて感動したエピソードの一つです。彼はわかってくれたのです。このコーヒーは関わるさまざまな人の思いがギュッと詰まったものだということを。味で、サービスで、パンフレットで、彼は順番に理解し、心を込めたお辞儀で感謝を表してくれました。そしてその後、彼のイライラが慰められたことをSさんと喜びあつたのを覚えています。

昨年、私は身体表現講座という講座を持つことができ、しょうがいの有無・年齢性別職業がばらばら

らの方々と舞台作品をつくりました。

その過程でもさまざまな気付きがあり、しょうがいが個性になる瞬間・人が固定観念を捨てて変わる姿・人と人が出会って関わりあう美しさに、たくさん立ち会えました。

個人的なさまざまな人々が出会う場・しょうがいのしや青年教室は、私にとって大切な場所です。次にはどんな方と出会えるのか、とても楽しみです！



陶芸講座で作ったカップ。それぞれの個性が光ります。



◆◆◆◆◆ この活動に関心がある方へ ◆◆◆◆◆

◆各コースの活動内容(活動日・時間帯は変更の場合あり)

スポーツ：市内体育館でさまざまなスポーツに挑戦します。

第1 金曜日の夜6時半～8時

企画会議：みんなが楽しめる企画を話し合い、実行します。

第2 金曜日の夜7時半～9時

クラフト：毎回一つオリジナルの作品を作ります。

第4 金曜日の夜6時半～8時

リトミック：音や音楽のリズムに合わせて身体を動かします。

第2 土曜日の昼2時～4時

料理：さまざまなカレーをこだわって作ります。

隔月第3 土曜日の午後5時半～8時

喫茶実習：公民館内の喫茶わいがやで喫茶体験をします。

開店時と希望日時を調整して日程を決めます。

陶芸：喫茶わいがやで使用するカップなどを作ります。

*陶芸は今年度の募集を締め切りました。

スタッフ募集中!

しょうがいがある若者との活動に関心のある方、楽しく活動したい方、スタッフとして関わってみませんか。左のようなコースごとの活動で、希望に合わせて参加できます。

また若者向けの講座や研修への参加、企画スタッフとしての活動もあります。ぜひあなたの力を、この活動に貸してください。

お気軽にご連絡ください。

対象 高校生～30歳代ぐらいまでの方

連絡先 公民館 ☎ (572) 5141

国立市公民館 「平成24年度・重点目標」

国立市公民館は、市民の「生涯学習の振興・推進」を図るために、社会教育法等に基づく社会教育施設として、市民の学習環境を整備しその機会を提供しています。これまで公民館では、人権や共生の視点から幅広い領域のテーマを取り上げた講座開催や、しょうがいしゃ、外国人、青年、高齢者、女性など、個別の課題を抱える対象別の事業展開をしてきました。

さらに近年は、新たな行政課題や多様化する学習ニーズへの対応、地域の絆の再生など、取り組むべき課題も生まれています。そこで、これまでの公民館事業の成果と公共性を公民館運営審議会とともに評価・精査しながら、これまで以上に市民生活に根差し、地域の課題解決に向けた実践的な学習を推進するために、以下の公民館「平成24年度・重点目標」を設定し、取り組んでいます。

学びのコミュニティを 支援する取り組み

- ・公民館から遠い市内各地区に出向き、自治会・町会との連絡・連携を図るなど、地域のニーズを意識した館外講座を実施します。
- ・市民文化祭等の充実により、市民の文化活動の発表・交流の場づくりを進めます。

より広がりのある 公民館情報の発信

- ・館内外の掲示板を活用して、参加者募集や利用方法について、より伝わりやすくわかりやすい情報発信に努めます。
- ・これまで紙媒体のみの発行だった「公民館だより」をホームページでも閲覧できるようにするなど、インターネットなどを活用した広報手段を検討します。

地域課題・生活課題へ 新しいアプローチの試行

- ・関係機関と連携し、地域課題の解決に取り組むための市民の学習機会をつくります。
- ・社会情勢の変化や市民の学習ニーズに即した事業づくりに向けて、これまで以上に市民との対話の機会を大切にしていきます。

より快適に、利用しやすい 施設の環境整備

- ・より公平に効率よく会場利用の予約ができるよう、会場調整会の日時や受付の方法を変更します。
- ・市民のボランティアの協力により、公民館外庭の緑の整備を進めます。

資料にアクセスしやすい 公民館図書室の充実

- ・読書と市民の学習関心を結ぶために、図書の展示・紹介を充実させ、「図書室月報」の誌面を活用します。
- ・地域資料のデータ登録を進め、今後の収集・管理の方法を検討します。

〈図書室のつどい〉

宮澤賢治のことば

— 作品と手紙がつむぐ賢治像 —

お 話 澤村 修治 (作家、編集者)

独自の自然観で私たちの心をとらえてきた岩手の作家、宮澤賢治。震災体験が創作に影響を与えたといわれる賢治の作品は、東日本大震災後の今、励ましと祈りの思いを込めて再び多くの人びとに読まれています。

『宮澤賢治のことば』の著者の澤村さんは、賢治の童話や詩、手紙にみられる不思議な表現やことば遊びを集め、エピソードを紹介しています。そこからは、茶目っ気のある友人、変わり者の先生、妹思いの兄といった、魅力的な人物である賢治のさまざまな姿が想像できます。

賢治がことばを通して伝えたかったことは何か。人物像に迫りながら、一緒に考えてみましょう。

〈澤村さんの著書〉『宮澤賢治のことば—ほんとうの幸をさがしに』(理論社)ほか。

と き 6月30日(土) 昼2時～4時

ところ 公民館 3階講座室 *ご自由においでください。

〈くにたちブッククラブ さまよえる心と言葉2〉

内田百閒「山高帽子」

(岩波文庫、『冥途・旅順入城式』所収)

講 師 佐藤 泉 (青山学院大学・日本近代文学)

と き 6月14日(木) 夜7時半～9時半

ところ 公民館 3階講座室

申込先 公民館 ☎ (572) 5141

*次回は7月12日(木) 金井美恵子『タマヤ』(河出文庫)です。

地域史講座ワークショップ成果報告

くにたち〈まなびあるき〉地図展

～市民が調べた歴史・文化・自然マップ～

昨年度、公民館と生涯学習課が共同で開催してきた地域史講座〈まなびあるき〉では、後半のワークショップの中で、講座参加者が自分たちの学びとフィールドワークの成果を地図にまとめました。

旧街道や渡船場跡、線路跡などの交通・地形関係をテーマにしたグループ、旧地名や旧踏切の名称などの歴史関係をテーマにしたグループ、ビューポイントや街路樹などの自然・文化関係をテーマにしたグループが、それぞれ文献やフィールドワークで調べたことを国立市の地図に落とし込み、「私たちの地図づくり」をしてきました。

国立の隠れた魅力、知られざる歴史を垣間見ることができるかもしれません。ぜひご覧ください！

と き 6月12日(火)～22日(金) ※22日は夕4時まで

場 所 公民館 1階市民交流ロビー

問合せ 公民館 ☎ (572) 5141

〈美術のワークショップ〉

ギリシャ彫刻を描く

講 師 降矢 洋子 (画家)

画家として、また絵本作家として活躍されている降矢洋子さんを迎えて、ギリシャ彫刻に挑戦します。美術の授業のように白い彫刻をただデッサンするのではなく、好きな画材を使って、自由に色をつけて“好き勝手”に描いてみたいと思います。

大人になってから長らく絵を描いていないという方も、ぜひご参加ください。

〈降矢さんの仕事〉南アフリカ「アパルトヘイト反対」の木版画ポスター、紙芝居『いなむらの火』(童心社)ほか。

と き 6月24日、7月8・22日、

9月2・16・30日、

10月14・28日(全8回)

いずれも日曜日 朝10時～12時

ところ 公民館 地下ホール

定 員 30名(15歳以上の方。先着順)

持ち物 鉛筆(2B～4Bくらい)、消しゴム、スケッチブック1冊(厚手の紙のもの。F6サイズ以上)、画材(油絵の具以外。水彩・アクリル絵の具、パステル、色鉛筆など、お好きな画材をお持ちください) ※すべてお手持ちのものでかまいません。

申込先 6月10日(日) 朝9時～

公民館 ☎ (572) 5141

*よごれてもよい服装でおいでください。



〈映画と講演のシンポジウム〉

『町の政治』から学ぶ、国立市民の原点

～映画作家・時枝俊江が遺したかったものⅡ～

記録映画として評価の高い映画『町の政治—べんきょうするお母さん』(1957年)は、国立町(当時)の公民館で町の予算を学習し、子どもの教育環境の改善に取り組む女性たちの活動を追ったドキュメンタリーです。今年1月に逝去された製作者の時枝俊江監督は、この映画を通じて「政治とは手のとどかぬ所にあるものでなく、自分たちの力によってよくしていけるものだということ」を訴えたいと語られていました。

そこで、改めて『町の政治』を鑑賞し、お二人のゲストを交えながら記録映画作家としての時枝監督の仕事に跡付け、映画に込められたメッセージや、描かれた市民の活動に学ぶことの今日的な意味を考えたいと思います。

《映画》『町の政治—べんきょうするお母さん』

岩波映画 1957年 白黒30分

お 話 今泉 文子 (記録映像作家)

田崎 宣義 (一橋大学名誉教授)

と き 6月24日(日) 昼2時～4時半

ところ 公民館 地下ホール *ご自由においでください。

公民館 ロビーフォーラム 東日本大震災の被災地とつながる・支える ～わたしたちにできること、考えてみませんか～

昨年3月11日に発生した東日本大震災の被災地では、今も復興への取り組みが続いています。

今回は、しょうがいしゃと共に福祉と雇用を結ぶカレー作りを続け、公民館1階の「喫茶わいがや」にもカレーを届けている岩手県宮古市の「カリ亭」の小幡さんに、被災経験と復興への取り組みについてお聞きします。また、主に岩手県大船渡市などで、被災した地域の公民館を支援されている手打さんには、公民館が被災地で果たした役割などについて、報告していただきます。

お二人のお話を聞き、国立に暮らす私たち一人ひとりができる復興支援と、公民館からはじまる地域の絆作りについて、一緒に考えてみませんか。

お 話 小幡 勉 (岩手県宮古市「カリ亭」)
手打 明敏 (筑波大学・「立ち上がろう！公民館」プロジェクト代表呼びかけ人)

と き 6月17日(日) 昼2時半～5時

と ころ 公民館 1階市民交流ロビー

共 催 公民館利用者連絡会、
障害をこえてともに自立する会(喫茶わいがや)
*カレー試食あり。ご自由においでください。

市民による市民のためのメディア研究(第4回)

報道と情報発信のこれから

—ソーシャル・メディアの可能性—

講 師 上杉 隆 (元ジャーナリスト)

市民によるメディア実践を学ぶ連続講座の4回目です。上杉さんはマスメディアへの批判を発信する一方で、震災発生直後から自身のツイッターで震災関連情報の発信を続けてきました。

インターネットのソーシャル・メディア(ユーチューブやフェイスブック、ツイッターなど)を利用することで、誰もが「情報を収集し、選別し、意味づけを与えて、それをみんなと共有する」ことができるようになりました。

情報を発信する者は「批判もまた情報であり、反論をアウトプットすることによって、みずからの視野が広がっていく」という認識をもつべき」と上杉さんは著書の中で述べています。マスメディアが抱えている課題を学ぶだけでなく、私たちが「発信者」になった場合に留意すべき点なども考えていきたいと思えます。

〈上杉さんの本〉『新聞・テレビはなぜ平気で「ウソ」をつくのか』(PHP研究所)、『報道災害』(幻冬舎)ほか多数。
※今後も月1回程度のペースで開催していく予定です。

と き 6月21日(木) 夜7～9時

と ころ 公民館 3階講座室

定 員 35名(先着順)

申込先 6月8日(金) 朝9時～
公民館 ☎(572) 5141



ふらっと交流 公民館のつどい ～つくる・広げる 出会いの輪～ サークル紹介パネル展

と き 6月12日(火)～22日(金) ※22日は夕4時まで
場 所 公民館 1階市民交流ロビー

公民館で活動しているグループ・団体をパネルで紹介し、自分にあった活動を見つけ、出会いの輪を広げませんか。

「趣味につながるサークル活動に参加したい」、「地域で仲間作りがしたい」、「興味のある学習会、勉強会に参加したい」…。活動の場をお探しの方は、ぜひご覧ください！

パネル展 参加団体募集中!

活動紹介をして、仲間を募りませんか。

紹介ポスターを使って活動の紹介をしたいグループ・団体は、公民館にお問合せください。

問合先 公民館 ☎(572) 5141

共 催 公民館利用者連絡会

親子で遊ぼう・考えよう(出張版)

夏本番! あそび縁日スペシャル in 南市民プラザ

7月、夏の暑さも吹き飛ばす楽しい縁日遊びを親子で行います。今回は大学生のお兄さんお姉さんと一緒に遊びコーナーをまわったり、時には勝負したり。運動遊び、工作、音楽遊びまで、たくさんの遊びコーナーを用意します。ふるってご参加ください!

講 師 山田 修平 (NPO法人東京学芸大こども未来研究所)、東京学芸大学の皆さん

と き 7月14日(土) 朝10時～12時

と ころ 南市民プラザ 多目的ホール(下の地図参照)

対 象・定 員 子ども(3歳以上)と保護者 25組

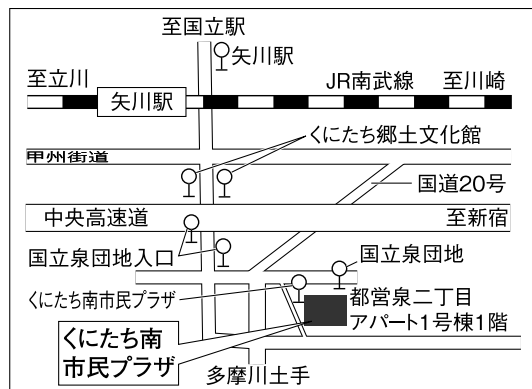
持 ち 物 飲み物、タオル

申 込 先 6月7日(木) 朝9時～

公民館 ☎(572) 5141

*汚れてもよい服装でおいでください。

南市民プラザ付近の地図



公民館のQ & A No.3

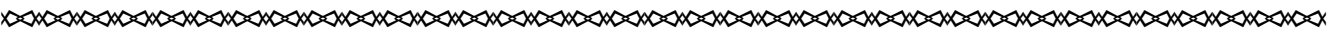
Q：公民館の講座（学習）の特徴は何ですか？

A：公民館の講座には、いくつかの大きな特徴があります。

- 個人だけの学習にとどまらず、集団でコミュニケーションをとりながら進める学習が多くあります。
- 講師からの一方的な学習だけでなく、参加者の意見や考え方が反映され、みんなで作りあげていく学習です。
- 参加者の多くが市民のため、地域との結びつきが深まります。その学習は個人に還元するだけでなく、地域での活動につなげることのできる学習です。
- 学習成果の館内展示や文化祭・行事などの発表によって、異種サークルや異世代間での交流ができる学習です。このほかにも、参加者一人ひとりの抱かれている特徴もあると思います。皆さんも公民館講座に参加して、個人の資質の向上はもちろん、地域の方々と係わり共に学び合いませんか？



小グループで話し合い、提案を発表する参加者
(講座「市民による市民のためのメディア研究」)



〈社会体育事業〉

小学生のテニス教室

とき 7月23日(月)・24日(火)・25日(水) 全3回
朝8時～10時

ところ 谷保第三公園内テニスコート(富士見台2-34)

指導員 国立市スポーツ推進委員 池田将典(ほか助手数名)

対象 小学生1・2・3年生(市内在住・在学)

定員 50名(はじめての方優先。応募者多数の場合は抽選)

申込み 往復はがきの往信用裏に、氏名(フリガナ)・学年・性別・住所・電話番号を明記のうえ、下記までお申込みください(はがき1枚につき1名。複数名の応募・記載漏れ等は無効とします)。
※返信用表にも住所・氏名を明記してください。

申込締切 7月5日(木) 必着

申込先 〒186-8501 国立市教育委員会 生涯学習課
「小学生のテニス教室」係

問合せ先 国立市教育委員会 生涯学習課
社会教育・体育担当 ☎(576) 2107 (直通)

第57回くにたち市民文化祭 ～参加団体募集！～

日ごろのグループ活動の成果を文化祭で発表してみませんか？ 今年の秋に公民館の会場を使ってイベントを行いたい、発表会や講演会、ワークショップを企画したい、仲間作りがしたい、という団体を募集しています！
開催時期や会場については、公民館にご相談ください。

◆次回実行委員会

とき 6月28日(木) 夜7時～

ところ 公民館 3階講座室

*参加希望の団体は事前に公民館へご連絡ください。

問合せ先 公民館 ☎(572) 5141

文化祭の実行委員長および開催予定期間が、次のとおり決まりました。

委員長 新井 由利子(まほうのランプ)

開催予定期間 平成24年10月上旬～12月上旬

*詳しい日程や行事の内容については、公民館だより9月号等でお知らせします。



アンネのバラの周りもきれいに
なりました。(正面入り口横)

次回作業日 6月20日(水)
朝9時半～11時半ごろ

ところ 公民館 3階実習室

申込先 公民館 ☎(572) 5141

4月から数人で作業を始め、富士見通り沿いの植木の下の草取り、5月にはグリーンカーテンの準備も始めました。これからも除草やつじの剪定など作業がたくさんあります。ご協力いただける方、ぜひ一緒に作業をしましょう。お待ちしております。

緑化ボランティア募集

ひるば

(8ページにもあります)



シジユウカラ 一多摩川

撮影 富士見台在住の方

私たちと一緒に歌いませんか

女声合唱団クルブルミエです。1年半に一度のペースで定期演奏会を行っています。初心者の方大歓迎です。私たちと一緒にハーモニオを楽しみませんか。見学可。
日時 毎週月曜日 朝10時〜12時
場所 さんせいホール
連絡先 中村(562) 4193

フルートアンサンブル会員募集

アンサンブルの魅力を追及すると共に、メンバーの和を大切にしています。先生の指導を受け、演奏技術の向上を目指しています。
国立フルート「桜音の会」
日時 第二、四火曜日 夜6時〜
場所 グランソシエ国立
連絡先 西村090(1210) 2640

混声合唱に参加しませんか

笑い声の絶えないアマチュア市民のコーラスグループ、国立カンタービレ。プロの指導者のもと練習。毎年春に発表会があり大好評！ 男性の参加者は特に歓迎！
日時 第一、三金曜日 昼1時〜
場所 矢川駅徒歩2分矢川集会所
連絡先 吉田090(3508) 3641

コーラス和環境へのお誘い

心と体の健康をモットーに五感を磨き、とても楽しんで歌っています。国立音楽祭にも参加しています。一緒に歌いませんか。まずは見学大歓迎です。
日時 月4回土曜日朝10時〜12時
場所 公民館 地下ホール(予定)
連絡先 佐藤(573) 4321

俳句会へのお誘い 郷土俳句会

療俳句会の岡山先生の指導で次により句会を開いています。添削などで見違えるほど良い句になるなど、大変楽しく勉強できます。どうぞお気軽にご参加ください。
日時 第二月曜日 昼1時〜
場所 郷土文化館
連絡先 加藤(576) 5752

なかよしテニス女性部員募集!

前半基礎練習、後半練習試合をしているテニスサークルです。一緒に楽しい汗をかきませんか？ コーチあり。体験日：月曜日朝10時〜12時、矢川コートにて。
日時 毎週月・金曜日
場所 矢川コート・広場コート
連絡先 小林(575) 9203

ミニテニス協会 会員募集

ビニール製のボールで行う室内テニスです。ボールの素材が柔らかいので腕への負荷も少ないです。生涯スポーツとして楽しめます。若者から中高年までOKです。
日時 毎週土曜日 朝9時〜12時
場所 総合体育館
連絡先 横山080(1050) 8711

三歳からの体操クラブ会員募集

ファミリースポーツクラブでは、スポーツ全般の基礎となる体幹を鍛えるために、バレエや体操の要素を取り入れて体力作りをしています。対象三歳〜小三くらいまで。
日時 毎週火曜日 昼3時半〜
場所 総合体育館第三体育館ほか
連絡先 酒井070(6661) 0282

「国立アクティブ」会員募集

三十代〜七十代の幅広い女性のメンバーで、月2回コーチの指導のもとバドミントンの練習をしています。初心者大歓迎です。まずは、体験にいらしてください。
日時 毎週水曜日 朝9時〜12時
場所 総合体育館 第一体育室
連絡先 清水(576) 1551 FAX共

エンジョイフットサルのお誘い

中学生〜大人(男女30・40歳代)の初心者〜経験者が、地域の仲間と共に気軽にフットサルを楽しんでいるチーム「ソラーナ」に、一緒に参加しませんか。
日時 土・日曜日 月3、4回
場所 主に国立市の体育館
連絡先 磯080(3258) 6711

石井亮一・筆子を読む会

日本の知的しょうがい教育・福祉の創始者である夫妻の著作の講読を通して、教育や福祉について学ぶ会です。現在大正9年の学園火災を記した『火影』を講読中。
日時 第三土曜日 昼2時
場所 石井亮一・筆子記念館
連絡先 事務局070(5060) 3459

第169回くいしんぼクラブ

台湾の端午節に作る粽を、留学生の皆さんと作ります。材料費800円。ゴミ袋とふきんをご持参ください。
日時 6月16日(土) 昼1時〜
場所 福祉会館 3階料理講習室
連絡先 八宮(571) 10007

異文化コミュニケーション

「WING」6月の定例会は、「ベルギーの文化と諸事情」について一橋大学留学生のフローランさんにお話を聞きます。質疑応答が活発で会話が楽しい会です。
日時 6月21日(木) 夜7時〜9時
場所 一橋大学内 国際交流会館
連絡先 若沢(576) 0474

デジタル写真の会員募集

デジタル写真の初心者中心のクラブです。良い写真の撮り方などと会員相互の親睦を目標とします。勉強会と撮影会を実施しています。年会費2千円。入会金無し。
日時 第一、三金曜日 撮影会
第四金曜日 勉強会(公民館)
連絡先 杉本090(2156) 9675

公民館運営審議会報告

5月8日(火) 第28期第19回定例会を開催。委員12名、館長、職員7名、傍聴4名。
新委員の委嘱
学校関係者の伊藤委員が異動につき解嘱。後任に戸井田委員(第二中学校副校長)が委嘱された。

前回の議事録確認

昨年度事業と今年度の取り組み
担当職員により昨年度主催事業の報告とその成果をふまえた今年度の計画と抱負が述べられた。
委員からは、南市民プラザ等での出張講座は今までカバードキなかつた地区への活動展開として、また「生」こみ分解BOXを作ろうは、今後につながる実践的講座であったとして評価が高かつた。

報告事項

- 公民館だより編集研究委員会
5月号の1面と2面は、逆のほうが良いのではとの声あり。
- 社会教育委員の会
意見集約の方法を次回検討。
- 東京都公民館連絡協議会
国立市が都公連委員会部長に就任。研修を3回実施予定。
- その他
・福生市からの交流の申込み。
・委員長から、前回の山崎副委員長の意見を受けて、公民館職員のあり方について、公運審としてどう示すかの提案があつた。

次回(6月12日)火午後7時15分から。傍聴歓迎。(武内)

今月の公民館 (6月、7月初)

*印は参加自由、他は事前申込みが必要です。

- 12日(火)朝~22日(金)
 - *くにたちくまなびあるき) 地図展
- 12日(火)朝~22日(金) *サークル紹介パネル展
- 14日(木)夜 くにたちブッククラブ
 - 「内田百閒『山高帽子』」
- 17日(日)昼 *公民館 ロビーフォーラム「東日本大震災の被災地とつながる・支える」
- 21日(木)夜 市民による市民のためのメディア研究
 - 「報道と情報発信のこれから」
- 24日(日)朝~美術のワークショップ
 - 「ギリシャ彫刻を描く」
- 24日(日)昼 *『町の政治』から学ぶ、国立市民の原点
 - ~映画作家・時枝俊江が遺したかったものII~
- 28日(木)夜 くにたち市民文化祭 実行委員会
- 30日(土)昼 *図書室のつどい「宮澤賢治のこぼれ」
- 7月14日(土)朝 親子で遊ぼう・考えよう
 - 「夏本番!あそび縁日スペシャル」

ひろば

(7ページにもあります)



セッカの子育て 一緑川河口一

撮影 富士見台在住の方

オープンデイ(園庭開放)

未就園の親子、生まれ、自然の中で思いっきり水遊び泥遊びを楽しみましょう。風の子の保育に触れてみませんか。申込不要。7月11日(水)も同じ企画があります。

日時 6月20(水)朝10時~11時

場所 富士見台団地幼児教室

連絡先 風の子(576) 4898

マトリョーシカの会コンサート

ゲストは東京外国語大学ロシア民謡研究会ルムークです。会員とのコラボレーションのほか参加者全員でロシアの歌を歌います。カナ付きの楽譜あり。資料代500円。

日時 6月30日(土)朝10時半~12時

場所 公民館 地下ホール

連絡先 坂本・大貫(572) 5214

水彩画「パレット」作品展

第7回サークル会員による作品展を開催します。今回も日ごろ楽しみながら描いている作品を展示しますので、ご覧ください。

日時 6月23日(土)朝11時~30日(土)夕5時。月曜休み。

場所 公民館 1階ロビー

連絡先 桐村(575) 5285

高校入試応援セミナー

中学生のための高校入試応援セミナーを今年も開催します。現役高校生の声を聞けるチャンス。参加費 親子500円、中学生300円。国立の子どもと教育を守る連絡会

日時 6月10日(日)昼2~4時

場所 福祉会館 3階講座室

連絡先 長谷川(529) 2649

〈サークル訪問249〉 太極拳友の会

「日本人は人に合わせるのが得意だけど、太極拳は個々の動きでいいの。やりながら、気の流れを感じ取るように、自分の内面に入っていくことが大事」

代表の斉藤マズミさんが太極拳の神髄をズバリとおっしゃった。

総合体育館の広々とした第1体育室の半面に散らばった15人。その中で、それまで斉藤さんは、ひとときわ静かにゆるやかな円を描くような動作の「伝統拳」に10分以上没頭していた。

「太極拳友の会」は、カルチャーセンターなどで太極拳を習う人が増え始めた30年前、「教室だけ」



気の流れを感じるように

や覚えられないから、公民館で自分たちで知っているところを教え合って練習しよう」と始まった。中国武術の太極拳だが、健康体操として簡易化され、中国政府が編纂・制定した「簡化24式」(24の動作から構成されている)の「制定拳」が現在広く一般に普及している。

会の最初と最後の時間に、全員で音楽に合わせて、簡化24式を行う。「一緒にやるのは先輩を『見習う』ため」と斉藤さん。それ以外の時間は、自由に1人あるいはグループで、基本の動作の練習や48式・88式などの制定拳、剣を使った太極拳なども行う。中央では見学者3人も交えて10人ほどが基本動作、傍らでは、女性3人グループが颯爽と剣の練習。

「毎週出ることに意義がある。何年もやって、年を取った自分の体に合わせることを知る」と87歳の男性。「週1回来て仲間と話ができるのもいい」「私は体の気持ちよさね」と女性たち。

毎週水曜日の午前10時または午後1時から2時間、総合体育館にて。「初心者も経験者も大勢で一緒にやりましょう」と会員募集中。

連絡先 島(577) 3038

〈文・写真 富田和枝〉